

## Situation 1

Two people who are dating (Takashi and Manami) are talking about their trip.

## Dialogue

タカシ：ごめん。<sup>おこ</sup>怒らないで<sup>き</sup>聞いて。

マナミ：え、<sup>なに</sup>何？

タカシ：<sup>こんど</sup>今度の<sup>りょこう</sup>旅行<sup>い</sup>なんだけどさ。行けなくなっちゃった。

マナミ：え！？なんで??

タカシ：いや。<sup>かいしゃ</sup>会社の<sup>せんぱい</sup>先輩が、<sup>きゅう</sup>急に<sup>にゅういん</sup>入院しちゃってさ。そのせいで、しばらく<sup>やす</sup>休みとれなさそうなんだよ。

マナミ：えー。なんでタカシの<sup>やす</sup>休みがなくなるの？

タカシ：しょうがないじゃん。その<sup>しごと</sup>仕事をできるの、<sup>せんぱい</sup>先輩の<sup>ほか</sup>他には<sup>おれ</sup>俺だけなんだよ。

マナミ：なにそれ。<sup>やす</sup>休みがないなんて、<sup>かいしゃ</sup>会社として<sup>ふつう</sup>普通にだめでしょ。

タカシ：しょうがないよ。<sup>せんぱい</sup>先輩が<sup>もど</sup>戻ってくるまでは、<sup>おれ</sup>俺が<sup>がんば</sup>頑張らないと。<sup>りょこう</sup>旅行はまた<sup>こんど</sup>今度にしよう。

マナミ：なんでそんな<sup>かんたん</sup>簡単に<sup>き</sup>決めるの？ほんとひどい！

タカシ：そんなに<sup>おこ</sup>怒らないでよ。おれのせいじゃないんだから。<sup>きゅう</sup>急に<sup>にゅういん</sup>入院するなんて、<sup>おも</sup>思わないじゃん？

マナミ：あーあ。すごい<sup>がんば</sup>頑張<sup>けいかく</sup>って<sup>た</sup>計画を立てたのになあ。<sup>たの</sup>楽しみにしてたのになあ。

タカシ：いやいや。<sup>おれ</sup>俺もめっちゃ<sup>たの</sup>楽しみにしてたんだよ。まあ、また<sup>つぎ</sup>次の<sup>けいかく</sup>計画を立てようよ。

## Breakdown

タカシ：ごめん。<sup>おこ</sup>怒らないで<sup>き</sup>聞いて。

Takashi: Sorry. Listen to me without getting mad.

- <sup>おこ</sup>怒る to get angry

マナミ：え、<sup>なに</sup>何？

Manami: Hmm, what is it?

タカシ：<sup>こんど</sup>今度の<sup>りょこう</sup>旅行<sup>い</sup>なんだけどさ。行けなくなっちゃった。

Takashi: It's about our upcoming trip. I can't go anymore.

マナミ：え！？なんで？？

Manami: What?! Why not??

タカシ：いや。<sup>かいしゃ</sup>会社の<sup>せんばい</sup>先輩が、<sup>きゅう</sup>急に<sup>にゅういん</sup>入院しちゃってさ。そのせいで、しばらく<sup>やす</sup>休みとれなさそうなんだよ。

Takashi: Um, because one of my seniors at work was suddenly hospitalized. And because of that, it seems like I can't take time off from work for some time.

- <sup>せんばい</sup>先輩 senior; elder
- <sup>きゅう</sup>急 urgent; sudden; steep; sharp
- <sup>にゅういん</sup>入院 hospitalization, admission to hospital; <sup>にゅういん</sup>入院する to be hospitalized
- <sup>せい</sup>せい fault; cause for blame; because of: <sup>かあ</sup>お母さんの<sup>ちこく</sup>せいで遅刻した。I was late because of my mon. (her fault)

マナミ：えー。なんでタカシの<sup>やす</sup>休みがなくなるの？

Manami: What? Why is your time-off request the one that's being denied?

タカシ：しょうがないじゃん。その<sup>しごと</sup>仕事をできるの、<sup>せんばい</sup>先輩の<sup>ほか</sup>他には<sup>おれ</sup>俺だけなんだよ。

Takashi: It can't be helped. I'm the only one who can do that job besides my senior.

- しょうがない、しょうがない it can't be helped; nothing can be done

マナミ：なにそれ。<sup>やす</sup>休みがないなんて、<sup>かいしゃ</sup>会社として<sup>ふつう</sup>普通にだめでしょ。

Manami: What on earth? Aren't companies normally not allowed to deny time-off requests?

タカシ：しょうがないよ。先輩せんぱいが戻もどってくるまでは、俺おれが頑張がんばらないと。旅行りょこうはまた今度こんどにしよう。

Takashi: It can't be helped. I'll have to take charge of this until my senior returns. Let's do our trip another time.

マナミ：なんでそんな簡単かんたんに決きめるの？ほんとひどい！

Manami: How could you make this decision so casually? You're really horrible!

タカシ：そんなに怒おこらないでよ。おれのせいじゃないんだから。急きゅうに入院にゅういんするなんて、思おもわないじゃん？

Takashi: Don't be so angry. It's not my fault at all. I wouldn't have known that he would suddenly be hospitalized, no?

マナミ：あーあ。すごい頑張がんばって計画けいかくを立てたたのになあ。楽しみたのにしていたのになあ。

Manami: My goodness. I had worked so hard to plan this trip, and I was looking forward to it.

- 計画けいかく(を)立てるた to make a plan
- 楽しみたの pleasure, enjoyment; anticipation; 楽しみたのにする to look forward to...

タカシ：いやいや。俺おれもめっちゃ楽しみたのにしていたんだよ。まあ、また次つぎの計画けいかくを立てようよ。

Takashi: I know, I know. I was also looking forward to it so much. Well, let's make some new plans.

## Situation 2

Tono-san and Nishiyama-san are talking at their office.

## Dialogue

どうの さいきん とかい ちほう ひ こ ひと ふ  
東野：最近、都会から地方に引っ越す人が増えてるんだって。

にしやま ぎゃく  
西山：え？ 逆じゃないんですか？地方から都会に引っ越してくるなら、わかりますけど。

どうの ちが じっさい とうきょうと じんこう へ  
東野：いや、それが違うんだよ。実際、ここしばらく、東京都の人口は減ってきてるよ。

にしやま し  
西山：へー。それは知りませんでした！なんでなんですか？

どうの さいきん じぶん いえ しごと ひと ふ  
東野：最近、自分の家で仕事する人、増えてるでしょ？

にしやま しよくば い  
西山：はい。わざわざ職場に行かなくていいらしいですね。

どうの とうきょうと す ひつよう  
東野：それなら、わざわざ東京都に住む必要ないじゃん。

にしやま しごと じたく  
西山：たしかに、どこでも仕事はできますもんね。自宅にパソコンさえあれば。

どうの しよくば ちか す ひつよう ひと ひと とうきょうと で  
東野：職場の近くに住む必要がなくなった人。そういう人が、東京都から出ていってるんだとおも  
思うな。

にしやま ちほう ほう ひろ いえ す  
西山：なるほど。地方の方が、広い家にも住めますしね。

どうの おれ ちほう ひ こ とし  
東野：俺も、いつかは地方に引っ越したいもん。もっと年をとったらさ。

にしやま わる  
西山：うーん。それも、悪くないかもしれませんね。

## Breakdown

どうの さいきん とかい ちほう ひ こ ひと ふ  
東野：最近、都会から地方に引っ越す人が増えてるんだって。

Tono: I heard that more and more people are moving from cities to rural areas these days.

- とかい  
都会 city
- ちほう  
地方 area, district; countryside
- ひ こ  
引っ越す to move (house)

にしやま ぎゃく  
西山：え？逆じゃないんですか？地方から都会に引っ越してくるなら、わかりますけど。

Nishiyama: What? Isn't it the other way around? It's understandable if they are moving from rural areas to cities, but...

どうの ちが じっさい とうきょうと じんこう へ  
東野：いや、それが違うんだよ。実際、ここしばらく、東京都の人口は減ってきてるよ。

Tono: No, that's not the case. In fact, the population of Tokyo has been declining for a while now.

- とうきょうと  
東京都 Tokyo; Tokyo metropolitan area
- じんこう  
人口 population
- へ  
減る to decrease; to become less

にしやま し  
西山：へー。それは知りませんでした！なんでなんですか？

Nishiyama: Wow, I didn't know that! Why is that so?

どうの さいきん じぶん いえ しごと ひと ふ  
東野：最近、自分の家で仕事する人、増えてるでしょ？

Tono: More and more people are working from their homes recently, right?

にしやま しよくば い  
西山：はい。わざわざ職場に行かなくていいらしいですね。

Nishiyama: Yes. It seems like they no longer have to go all the way to their office.

- わざわざ to take the trouble (to do sth); specially; all the way
- しよくば  
職場 workplace

どうの とうきょうと す ひつよう  
東野：それなら、わざわざ東京都に住む必要ないじゃん。

Tono: If that's the case, there's no need for them to go out of the way to live in Tokyo.

にしやま  
西山：たしかに、どこでも仕事はできますもんね。自宅にパソコンさえあれば。

Nishiyama: It's true that they can now do their work anywhere, as long as they have a computer at home.

- 自宅 (one's own) home; house

どうの しよくば ちか す ひつよう ひと ひと どうきょうと で  
東野：職場の近くに住む必要がなくなった人。そういう人が、東京都から出ていってるんだとおも  
思うな。

Tono: I think that people who no longer need to live near their workplace are the ones who are moving out of Tokyo.

にしやま  
西山：なるほど。地方の方が、広い家にも住めますしね。

Nishiyama: I see. They can live in a bigger house in rural areas too.

どうの おれ ちほう ひ こ とし  
東野：俺も、いつかは地方に引っ越したいもん。もっと年をとったらさ。

Tono: I also want to move to a rural area someday. Maybe I'll do that when I'm older.

- もの、もん indicates reason or excuse; because
- 年をとる to get older

にしやま  
西山：うーん。それも、悪くないかもしれませんね。

Nishiyama: Hmm. That might not be a bad idea too.